

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
保健体育 体育	2	3年 全科	<b>必修</b>	現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店)	

学習目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育む。
主な学習内容	○「体づくり運動」 集団行動・鷺高体操・体ほぐしの運動・実生活に生かす計画づくり ○「選択体育」 バレーボール・バスケットボール・バドミントン・テニス・ソフトボール・マット運動から2種目選択 ○「陸上競技(長距離走)」 ○「体育理論」 豊かなスポーツライフの設計
評価の 観点・規準	○公正、協力、責任、参画に対する意欲をもち、学習に主体的に取り組もうとしているか「関心・意欲・態度」を評価します。 ○課題に応じて運動を継続するための取り組み方を工夫しているかを「思考・判断」として評価します。 ○運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための段階的な技能を身に付けているかどうかを「運動の技能」として評価します。 ○運動の技術や特性、体力の高め方、課題解決の方法の知識を身に付けているか、つけようとしているかを「知識・理解」として評価します。 以上をふまえて総合的に評価します。
評価の 方法	授業での課題に取り組む様子から、以上の4観点を総合的に判断し評価します。

学期	内容
1 学期	* 体づくり運動 (鷺高体操 体ほぐしの運動 集団行動 実生活に生かす計画づくり) * バレーボール・バスケットボール・バドミントン・テニス・ソフトボール・マット運動から1種目選択 バレーボール: 個人技能・集団技能(対面パス・円陣パス、サーブ・サーブレシーブ練習)、ゲーム バスケットボール: 個人技能(パス・シュート練習)・ゲーム ソフトボール: 個人技能・集団技能(キャッチボール・バッティング練習)・ゲーム テニス、バドミントン: 個人技能(サーブ、スマッシュ、ストローク練習)・シングルス戦・ダブルス戦 マット運動: 個人技能・競技会 * 体育理論 豊かなスポーツライフの設計(生涯スポーツの見方)
2 学期	* バレーボール・バスケットボール・バドミントン・テニス・ソフトボール・マット運動から1種目選択 * 陸上競技(長距離走) 15分間走 * 体育理論 豊かなスポーツライフの設計(ライフスタイルに応じたスポーツ)
3 学期	* バレーボール・バスケットボール・バドミントン・テニス・ソフトボール・マット運動から1種目選択(2学期と同種目) * 体育理論 豊かなスポーツライフの設計(日本のスポーツ振興・スポーツと環境)

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	* 体育の授業は必ず指定の服装に着替えること。 * 身体的に都合のある人は保護者からその旨申し出ること。(診断書必要の場合あり) * 評価については、日々の活動が重要である。
--	---